

市長記者会見記録

日時：2024年9月3日（火）14時00分～14時21分

場所：本庁舎2階 記者会見室1・2

議題：市政一般

<内容>

【市政一般】

【司会】 ただいまより定例市長記者会見を始めます。本日の議題は市政一般となっております。

それでは、早速質疑に入りますが、進行につきましては、幹事社様、よろしくお願いします。

《全国都市緑化かわさきフェアについて》

【神奈川（幹事社）】 幹事社の神奈川新聞です。よろしくお願いします。一般ということで、まず緑化フェア、50日切りまして、北口にも掲示物とかを貼ったりして、改めてですけども、残り44日間の中で、やっぱりもう少し市民に浸透というか、どうやって市として残り44日間で盛り上げていくかとか、改めて考えがあったら教えてください。

【市長】 御指摘のとおり、緑化フェアって何をするの？というのがなかなか伝わりづらいところもあって、改めて、特にターゲットを絞って分かりやすいパンフレット、どんなことをやるのかというパンフレットを作って、様々なところで広報活動しようということにしております。それと、この時代ですから、SNSをどうやって対応するかということで、いろんな形で発信するということを今もやっておりますけれども、よりこれから強化していくことになっていくかと思います。せっかくですから、全ての市民の皆さんにこんな取組をやっている、ぜひ参加してくださいということと呼びかけていきたいと思います。

【神奈川（幹事社）】 30日のときには用意しているものがあるのでしょうか。

【市長】 30日？

【神奈川（幹事社）】 今後、策として用意しているものというのは。

【市長】 先月の末から、今おっしゃっていただいたように、川崎駅での大きな装飾みたいな、ラッピングというか、シティドレッシングというのが始まりましたけれども、順次、今まで100周年だったところが緑化のところに変わってくるので、急速に認知度は高まるとは思っています。

《地方自治・特別市について》

【神奈川（幹事社）】 それと、こちらの今後の主な日程にも書いてあるとおり、9月5日の県内三政令市市長・正副議長懇談会、公にやるのは、去年も非公開ではやったとお伺いしましたけれども、今回改めてこうやって公の形でやる理由と懇談会への狙いとか、市長が今しゃべれることであれば教えてください。

【市長】 昨年行ったときからの状況もまた変化してきておりますので、3政令市の市長、

議長、副議長が、議会がしっかりと連携をこれから深めていくという意味では、9人が集まることの意味はすごく大きいと思っていまして、これからはしっかりと連携していきたいという、そういう機会にしたいとは思っております。

【神奈川（幹事社）】 先月、立憲民主党の政令市議が政策協議会を立ち上げたりとか、少しずつ少しずつ前進しているのかなという印象も受けますけど、その辺、市長はどういうふうに受け止めていますか。

【市長】 やはり各政党が、衆議院選挙も近いと言われておりますけれども、今の国と地方の在り方というものの、制度、大都市制度も含めて、どう国を導いていくのかということを各政党がしっかりと議論していただくのは当然のことだと思いますし、それをしっかりと示していただきたい。その折には、私ども政令指定都市市長会が提言しております特別市というものをしっかりと政策の中で乗っけていただけるように、検討していただけるように働きかけをしていきたいとは思っておりますし、議会でもそういう動きがあることは大歓迎です。

《国政政党における総裁・代表選挙について》

【神奈川（幹事社）】 いみじくも選挙があるというようなお話をされていましたが、今度、自民党も立憲民主も代表選を控えておりますけど、市長が注目しているポイントだったりとか議論、何かあったら教えてもらえますか。

【市長】 特に政党のものについてはあえてコメントしませんが、分かりやすい政策議論が行われることを期待はしております。

《社会福祉法人母子育成会への監査等に係る検証等について》

【神奈川（幹事社）】 ありがとうございます。また、昨日ですけれども、母子育成会の検証メンバーがおおよそ固まってきたという概要を発表されましたけれども、市長として改めて期待することというか、どういうところを求めているかと思っておりますか。

【市長】 まだ弁護士の方が選任できていないということでありますけれども、選考の過程の中で、とにかく透明性、公平性、公正性が担保できるような方にしっかりと見ていただくことが大事だと思いますので、そういった意味で、今後のメンバーが固まり次第、作業に入っていくこととなりますけれども、しっかりとした検証がなされることを期待しています。

【神奈川（幹事社）】 ありがとうございます。

幹事社からは以上です。

《台風10号への対応等について》

【朝日】 朝日新聞でございます。台風10号の対応について、前々回の台風と比べて、課題が克服された点とかあると思いますので、市の対応で何か感じるところがあれば教えていただけないでしょうか。

【市長】 ありがとうございます。この前の会見で、情報発信のところに少し課題があったことを申し上げましたけれども、若干情報の修正なんかがあつて残念なところはあつたんですけれども、一方でタイムリーにいろんな媒体を通じて発信することができたのではな

いかと思っております。

一方で、こうやって2週間立て続けに台風が来ると、それもあり長期間にわたって避難所を運営していくことの課題は非常に大きいものがあると思っております。専門家の方から言えば、これが新しい日常になっていくんだみたいな話になりますと、当然、体制の在り方も考えていかなくちゃいけないという課題を持っております。先日もお話ししたとおり、10号が終わった後にしっかりと7号のときも検証して、どういう課題があったのか、それについてどう改善していくのかということをやっていきたいと思っておりますけれども、今日もそんな話を定例局長会議の中でいたしました。しっかりと課題を区や各局が出し合って、改善につなげていこうというお話をさせていただきました。

【朝日】 機会がありましたら、私も関心があるので、検証についてのまとめを教えてください。

【市長】 そうですね。何か会議体をつくって云々ということではないので、情報提供の形で、何らかの形で、私からこんな課題に対してこういうことをやっていきますよということをお話しさせていただきたいと思います。

【朝日】 ありがとうございます。

【市長】 どうぞ。

《JR南武線連続立体交差事業について》

【読売】 読売新聞です。南武線の連続立体交差事業が、先月30日によりやく都市計画決定されたと思うんですけれども、市民にとっては、交通問題だとかいろいろあって、もともと令和2年度中の都市計画決定が予定されていた中で延びたことと、ようやく決まったことへの改めての市長の受け止めなど伺えますでしょうか。

【市長】 延びていた理由は幾つかありますけれども、直近の話で言えば、コロナがあって、いろんな事業を見直していかなくちゃいけない中で、工法の変更などを行いました。それぞれにメリット、デメリットという形の総合的な判断で工法変更などをいたしましたけれども、ようやく都市計画決定に至ったことはよかったと思っておりますし、あとはしっかりと事業を着実に推進していくことが大事だと思います。市民の皆さんの期待度は高いと思っていますので、着々とやっていきたいと思っております。

【読売】 今後、地権者からの土地の買収とかそういったいろいろ問題もあると思うんですけれども、今後進めていく中で気をつけたいこと、何かありますか。

【市長】 交渉事の部分もありますから、そこは丁寧に、事業の意義というものの、そして効果というものをしっかりと御説明し、理解していただくことがとても大事だと思っております。そこはスピード感を持ってやりたいところではありますけれども、しっかりと丁寧に行っていくことが、結果的には事業を早く進めていくことになると思っておりますので、その辺りは気をつけて丁寧にやっていきたいと思っております。

《公園内における喫煙の取り扱いについて》

【読売】 あともう一つ、禁煙に関する事で、これも先週の委員会でありました。市は来

年度4月から、市内の公園について原則全面禁煙と説明があったんですけど、結構議員さんからは反発もあって、今回、4月に実証実験を行って、結構早い決定というか、流れだったかなと思うんですけども、公園を禁煙化することへの受け止めとか、今回、原則全面禁煙と都市公園条例を改正してやることについて、そういったいきさつなどについてはどうお考えでしょうか。

【市長】 「市長への手紙」の中でも、非常に多いのがこのたばこ問題です。それは公園だけということでは限りませんが、駅だとか道路だとかという様々なところで御意見をいただきます。その中で、公園はやはり大きな課題となっていて、子供の安全の問題ですとか、あるいは副流煙が非常に気になるとおっしゃる方もいます。そういったところで、他都市でも公園の禁煙化に踏み切るところがある中で、どうやっていくべきなのかということと議論してきました。ただ、勝手に進めるということではなくて、今おっしゃっていただいたように、実証実験というものをやって、アンケートも取ってという形をすることによって、正直、私たちが行政としてこういう結果になるんじゃないかと思っていたものとは少し違う部分も出てきました。そういったことを含めての対応なので、原則禁煙ということでもありますけれども、100%ということではありません。管理のできる場所はそれぞれのルールを持ってやっていくことになっていきますけれども、ただ、パブコメ、議会からもいろんな意見をいただいているということでもありますので、この辺りもしっかりと説明を尽くしていきたいと思っております。

【読売】 思っていたことと違ったというのは、どういう想定だったんでしょうか。

【市長】 実は今までの反応からして、分煙を望む声はほとんどないんじゃないかと私も思っていましたし、担当のところも実はそう思っていた人もいます。少なくとも担当部署というか、私の印象としては、完全禁煙を求める人たちが圧倒的に多いかと思っていましたけれども、そうでもない意見もあったのは、やや私の受け止めとは違ったという。ただ、こういった多様な意見を受け止めて反映させていくことが大事だと思っているので、そういった意味でのちょっと思っていたところとは違ったという意味です。

【読売】 ありがとうございます。

【市長】 どうぞ。

《国の移住支援金制度について》

【時事】 時事通信です。政府が結婚移住支援策を撤回した件についてお伺いいたします。

【市長】 ごめんなさい、もう一回お願いします。

【時事】 政府が結婚移住支援策を撤回した件についてお伺いいたします。先日政府が、結婚を機に東京23区内から地方へ移住する女性に最大60万円を支援する方針を事実上撤回しましたが、市長としての受け止めはいかがでしょうか。

【市長】 お金を出せば人が動くのかというのには、私はちょっと違和感を持っておりますので、撤回されたことはいいのではないかと思います。東京都一極集中というのは、必ずしもお金を出せば移住するかという問題ではないと強く思っているのもう少し大局的

な仕組みというか、社会の在り方を考えたほうがいいのではないかと考えています。

【時事】 ありがとうございます。

《地方自治・特別市について》

【日経】 日経新聞の友山です。先ほど市長の言葉でもありましたけれども、特別市について伺います。8月、新たな動画を公開されました。これまでも特別市に関する動画はあったわけですが、8月に公開したタイミングとか、これは特に意味があったりしますか。

【市長】 これは前の動画が……、たしかそうですね。違いましたっけ。たしか前の動画の使用期限が決められておりまして。

【日経】 ええ。今見られないです。

【市長】 使用期限が決められている中で、引き続き分かりやすく説明していく必要があるなということでのタイミングでの切替えだと思っています。

【日経】 分かりました。今後、特別市に関して新たな動画の公開ですとか、あとは特別市に関する懸念、財源の問題ですとか総合調整機能への懸念、これに対して説明するような動画の公開をお考えでしょうか。

【市長】 今のところ、さらなる新たな動画は考えていませんが、必要があれば、そういったものもやっていく必要があるのかもしれませんが。プラス、今おっしゃっていただいたような御懸念の向きについてはしっかりと説明していく必要があると、論理的に説明していく必要があるし、皆さんにそう思っただけのような説明をしていかなくちやいけないと思っています。

【日経】 説明の機会というのは、何か今想定しているものがありますか。

【市長】 これまでも出前説明会ですとか、あるいはシンポジウムなどという形で開催してきましたし、これからも積極的に、呼ばれれば行くというようなことだけではなく、職員もそうですし、私も至るところで特別市のお話をしておりますので、積極的に私たちが思っていることと、疑問をいただいていることについてはしっかりと説明していきたいと思っています。

【日経】 ありがとうございます。

【市長】 どうぞ。

《社会福祉法人母子育成会への監査等に係る検証等について》

【t v k（幹事社）】 テレビ神奈川です。昨日の母子育成会の監査の検証なんですけれども、改めて検証することの目的を伺えますか。

【市長】 私たちの検証というものがプロセスとして正しかったのか、正しくやっているのか、あるいは、OBだとか土地の無償の貸与がそれぞれいろんなものに影響していないのかとかということをしつかりと客観的に見ていくことだと思います。議会でも御指摘いただいているその疑念をしつかりと払拭していく、払拭していくと言ったら検証というのでは違うのかもしれませんが、ちゃんと客観的に検証していくことが、今後の信頼を、過

去のこともそうですし、これからも信頼を得ていくためには大切なことなのではないかと思えます。

【t v k（幹事社）】 ありがとうございます。

【読売】 追加ですみません。母子育成会の問題に関して、先々週の金曜日に、新しい理事長が会見するとかいろんなことがあって、正しいことが何なのか分からない状況が、市長も恐らく続いていたと思うんですけども、ようやく警察署が告訴状を受理して、元理事長は恐らく悪かったという筋で捜査が進んでいくことになるんですけども、そこがまず一つ定まったことについて、市長の見解、どう感じたか、教えていただけますでしょうか。

【市長】 私もコメントの中で、とにかく捜査でしっかり明らかにしてもらいたいということを書いてきましたので、一つ、そのスタートが切られることは、いろんな不透明な部分があるんでしょから、そこを明らかにしていくことは非常に大事なことだと思っていますので、そこに期待したいとは思っています。

【読売】 ありがとうございます。

《国の移住支援金制度について》

【時事】 時事通信です。先ほどの結婚移住支援策について追加でお伺いいたします。若年層の女性が市外へ流出する問題について、市としても何か課題であったり取組があればお伺いできますでしょうか。

【市長】 都市としてですか。

【時事】 市として、例えば若年層の女性が市外へ流出しているという問題がございましたら、課題であったり取組などありましたらお伺いできますでしょうか。

【市長】 川崎市は、20代の若年層は増えております。むしろ転入してきているということなので、私たちの課題となっておりますのは、30代、40代という子育て世代のところが転出超過になっているという部分があります。そこに対しての課題はありますけれども。それについては様々な、ちょっと地方とは違う首都圏なりの、川崎市なりの特徴が出ていますので、それについては引き続きしっかりやっていきたいと思っています。

【時事】 ありがとうございます。

【司会】 質問は以上でよろしいでしょうか。

では、以上をもちまして市長記者会見を終了いたします。ありがとうございました。

(以上)

・この記録は、重複した言葉づかい、明らかな言い直しや質問項目などを整理した上で掲載しています。

(お問合せ) 川崎市役所総務企画局シティプロモーション推進室報道担当